

船舶事故等調査報告書

平成23年7月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011横第34号	
事故等種類	運航不能（機関損傷）	
発生日時	平成23年1月14日 20時13分ごろ	
発生場所	静岡県南伊豆町石廊崎南西方沖 南伊豆町石廊崎灯台から真方位249° 7.6海里付近 （概位 北緯34° 33.4′ 東経138° 42.2′）	
事故等調査の経過	平成23年2月25日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	液化ガスばら積船 ^{たいへい} 太平丸、749トン 136715、イノガストラנסポート株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、三級海技士（航海） 機関長、四級海技士（機関）	
死傷者	なし	
損傷	CPP作動油リリーフ弁出口配管継ぎ手部折損	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び機関長ほか4人が乗り組み、石廊崎南西方沖を西南西進中、平成23年1月14日20時13分ごろ、CPP変節油タンクの油面低下警報装置が作動して翼角制御が不能となった。</p> <p>機関室で当直していた機関長は、警報を聞いてCPP周辺機器を点検し、リリーフ弁出口配管付近から作動油が噴出しているのを認め、主機及びCPP作動油ポンプを停止した。</p> <p>本船は、船上での修理が不可能であると判断し、えい航会社に救助を要請し、えい船に引かれて静岡県静岡市清水港に入港した。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西北西、風力 5</p> <p>海象：波高 約3m</p>	
その他の事項	<p>本船は、本インシデント後、リリーフ弁周辺を点検したところ、次のことが判明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リリーフ弁出口配管継ぎ手部折損 ・変節軸への給油配管のフィルター及びCPP変節油タンク内吸入フィルターの目詰まり、閉塞 <p>機関長は、給油ラインのフィルター及びCPP変節油タンク内吸入フィルターを本インシデントの約2年前に取り替えた。</p> <p>本船は、入渠した際にCPP変節油タンク内の点検及び掃除を毎回行っていた。</p> <p>CPP変節油タンクの容量は130ℓで、通常約120ℓで使用し、油面低下警報装置が作動する油量は50ℓであった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>不明 あり なし 本船は、石廊崎南西方沖を航行中、CPP油圧</p>

	<p>配管が折損したことから、作動油が漏えいして同タンクの油面が低下し、警報装置が作動するとともに翼角制御が不能となったものと考えられる。</p> <p>本船は、CPP変節油タンクの吸入フィルターが閉塞して作動油タンクの振動が増加し、油圧配管が折損した可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本インシデントは、夜間、本船が、石廊崎南西方沖を航行中、CPP油圧配管が折損したため、作動油が噴出してCPP変節油タンクの油面が低下し、翼角制御が不能となったことにより発生したものと考えられる。</p>